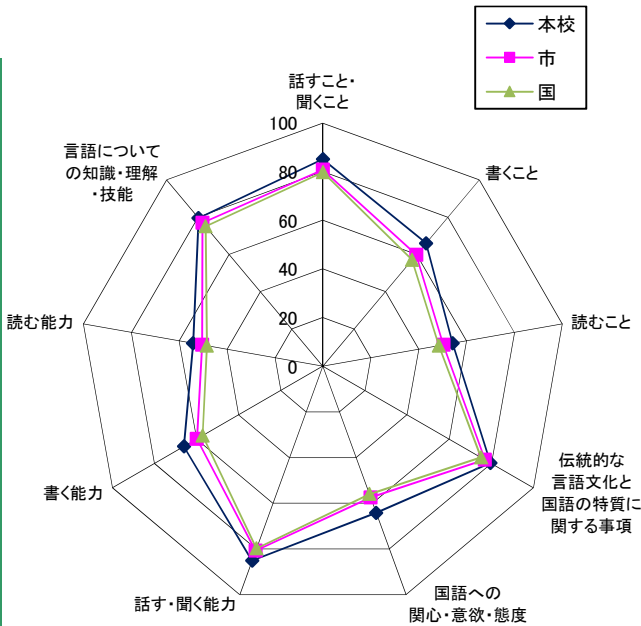


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国, 市と本校の状況

【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	85.1	80.8	79.8
	書くこと	66.0	59.8	57.1
	読むこと	54.2	50.4	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.6	77.0	75.1
観点	国語への関心・意欲・態度	64.2	57.5	56.0
	話す・聞く能力	85.1	80.8	79.8
	書く能力	66.0	59.8	57.1
	読む能力	54.2	50.4	48.5
	言語についての知識・理解・技能	79.6	77.0	75.1



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○平均正答率は全国平均を5.3ポイント上回っている。 ○「話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える」という問題では、全国平均を10ポイント以上上回っている。 ○記述式の問題の無回答率は、県や国の平均よりも低い。 ●選択式の問題2問の無回答率が、県や国のポイントに比べて高かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・コロナ対策の事情もあり、対面やグループで話し合いをする機会が少なかった。その中でも、「幸福について」などの教材を通して、討論の技術などを学ぶことで、理解を深めさせる。 ・国語だけでなく、学活や道徳などでも話し合いの機会を設けていく。 ・選択式問題の無回答率がやや高かったことは、無気力が原因であるとも考えられるので、日ごろから、空欄をつくらずに書く努力をするよう指導を行っていく。
書くこと	○平均正答率は全国平均を8.9ポイント上回っている。 ○どの問題も県や国の平均正答率を8ポイント以上上回っている。 ○「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える」という問題では、全国平均を12ポイントも上回る結果となった。 ●無回答率は、記述式の問題になるとやや高いものの、県や国の平均は下回る結果となっている。	・本校だけでなく、県や国の正答率も低い、「語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く」という問題は正答率が40%を下回っているため、意見文や鑑賞文などを書く機会を増やし、言葉の使い方や文のねじれ、意見と根拠の関係などに注意して添削指導を行っていく。
読むこと	○平均正答率は全国平均を5.7ポイント上回っている。 ○どの問題も県や国の平均を上回っているが、とくに「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」という問題では、全国平均を12ポイント以上上回っている。 ○無回答率も全ての問題で、県や国の平均を下回った。	・全国的にも低い正答率であった「文章の内容を捉えたうえで、根拠を明確にして、自分の考えをもつ」ということに課題が見られる。そのため、筆者がどのような意図でその文章を書いたのか、自分の考えの根拠がはっきりしているか、などを意識させたうえで、読解や記述に取り組ませていく。 ・文章中に書いてあることを基に答えを考えることを、日ごろの単元テストなどから声掛けをしていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○平均正答率は全国平均を4.5ポイント上回っている。 ○どの問題も県や国の平均正答率よりも上回っている。その差は1ポイントほどのものもあれば、「相手や場に応じて敬語を適切に使う」の問題は、全国平均を12ポイント近く上回っている。 ○無回答率も全ての問題で、県や国の平均を下回った。	・漢字の読み書きは、テストでは高い正答率だったが、普段のダイアリーや作文を見ると、誤った漢字を使用している生徒は多い。普段からたくさん漢字を書かせ、誤りをその都度直していく。また、漢字テストを授業冒頭で行い、間違えた漢字をすぐに練習することで、定着を図っていく。 ・敬語については、全国平均を高く上回ってはいるが、社会に出た時に非常に重要なスキルであるため、日常の会話でも敬語を適切に使用することを指導していく。